

アイリスLetter



2018年2月28日発行

第10号

広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

毎年の風景ではありますが、この冬枯れの自然の中で、校庭にある桜の樹の下に桜の枝が散らばって落ちているのが見られます。ずいぶん以前のことで、この光景を始めて目にした時には、誰かがいたずらをして枝を折っていると勘違いして腹立たしく思ったこともありました。というのは、枝にはすでに沢山の芽がついていて、春の開花の準備が始まっていたからです。しかし、これが単作りの準備を始めたカラスのせいだと知ってからは、春の訪れを知らせるしるしとして見る様になりました。この時期、今年も新中学1年生となる入学予定児童のためのオリエンテーション、中学生徒会役員選挙など、新年度に向けての準備が着々と進んでいます。そして、女学院中高での学びを終えて高校3年生が3月1日に卒業していきます。6年間の学びを終えて立派に成長を遂げた生徒達の姿を見ることは大きな喜びです。大学入試の中にある生徒達も多くありますが、それぞれにふさわしい道が備えられることを祈りたいと思います。

先日、中学校の礼拝でこのような話をしました。

「小さい頃からココアは好きな飲み物の一つでしたが、カップに粉と砂糖を入れ熱いミルクを注いでかき混ぜて飲んでいました。大学生の時、ある先輩の家でココアをごちそうになりました。粉をコンロ上の鍋に入れ、少量のミルクで良く練って、つやのあるとろりとした状態にしてから作ってくると、香り豊かなココアの香りがあふれてきて、びっくりするほどおいしいココアが出来ました。原料は同じなのに手の入れ方でこんなにも違った味になるのを知って、衝撃を受けました。また、紅茶は沸かしたての、気泡が沢山残っている熱湯を注ぐことで茶葉が踊って香り豊かになること、煎茶は沸かしたお湯を適度にさましてから入れることでまろやかな良い味が出ることも学びました。ティーバッグなどはあまり工夫の仕様もないように見えますが、ある時、ほうじ茶のバッグに熱湯を注いで飲むと嫌な苦みが残ったので、淹れる前に軽く水で湿らせてからお湯を注ぐと、とてもおいしくなりました。イギリスで飲んだ紅茶の味に感動して買って帰った方が、日本の水ではどうしてもその味が出なくてがっかりしたことも聞きました。作る側はこうしたら美味しく飲んでもらえると知っていても、飲む側が違う方法で淹れれば、本来のおいしさは引き出されることなく役目を終えるでしょう。」同じように私達人間一人一人は異なる個性を持っていますが、その本来の良さが引き出される条件は、みな違っています。家庭や学校に於いて親や教師が子供たちのそうした特性を見出して、ふさわしい動機付けをしてやる事が出来れば、子供達は生き生きと輝いていけるでしょう。しかし、そうでない場合はお茶の入れ方がふさわしくないために、いい味が出ないだけなのに、素材自体が悪いものであるかのように間違っただけになってしまうこともあるでしょう。取り囲む環境の問題もある一方で、人間は自立していく中で、自分自身が自分にとってふさわしい味の出し方を学んでいく必要があるのではないのでしょうか。

旅立ちの時を迎える高3生にとって、広島女学院での中高生活が、その意味でどのようなものであったろうかと考えます。大きな自己発見の機会を持った人、まだそれを自覚できていない人、不本意な思いを持つ人など様々でしょう。聖書の創世記には、神が天地や動植物を創造した時にこれを見て、「良しとされた」と宣言されたことが書かれてありますが、人間を創造した後は、「それは極めて良かった」と記されています。人は、自由を持った存在として神にかたどられて創られました。自由を持つがゆえにロボットとは違い、一律に制御することが出来ない困難さや複雑さがあります。しかし、大事なことは、表面的にはどう見えても、一人一人が「極めて良い」ものとして存在させられている、という原点を忘れないことであると思います。

高3の保護者の皆様方、これまで6年間の皆様とのお交わり、お支えに心から感謝いたします。

聖書の言葉 「神はご自分にかたどって人を創造された。神はお創りになった全てのものを
ご覧になった。見よ、それは極めて良かった。」 創世記1章27・31節

(校長)

中学入試について

1月18日(木) 中学校入試が行われました。今年もインフルエンザの流行や受験生の体調、天候など心配しましたが、遅刻、欠席への対応等も少なく、無事に終えることができました。

前日準備では中3・高2の生徒が試験会場の掃除をしてくれ、気持ちの良い環境で受験生を迎え入れてくれました。また、試験当日、朝早くから受験生が安心して試験に臨めるよう心を込め働いてくれた補助生徒の皆さん、ありがとうございました。感謝です。

合格発表の後、2月3日(土) 第1回新入生オリエンテーションで制靴やカバン等の購入、17日(土)の第2回オリエンテーションで入学礼拝の練習を終え、新入生はいよいよ4月7日の入学の日を待つばかりとなりました。

在校生のみなさん、新しい女学院生を笑顔で歓迎しましょう。

(中学教頭)

ミャンマー研修

1月16日(火)～21日(日)に、中3(5名)と高1(6名)と教員(2名)でミャンマー研修に行ってきました。主なスケジュールはインターナショナルスクール(ISM)や郊外の小学校、NGO「AAR Japan」(障がい者への職業訓練)等への訪問です。ISMでは日本の文化や歴史、広島の平和活動についてプレゼンし、その後意見交換をしました。郊外の小学校には事前準備で皆様から寄付して頂いた支援物資(衣類・文具・玩具など)を届け、交流を深めました。この小学校は建設に11月に来校された古庄重生さん(パゴダの会)が関わっており、その時の「支援はありがたいですが、必ず現地の子供たちの笑顔を見て欲しい」という言葉の真意が理解できました。屈託のない笑顔で迎えてくれた子供たちの姿から、支援とは物だけではなく人と

の繋がり・絆でもあることを実感しました。

現地で全ての参加生徒が感じたことは、「最後のフロンティア」と呼ばれ目まぐるしい発展を遂げる一方で、確かに存在する貧困や教育の格差だったようです。テレビやパソコンの画面越しには向かい合えない「現実」(課題)がそこにはありました。貧困問題の解決のため、ミャンマーの未来を創出する人材のため、子どもたちの笑顔のため、「教育」の担う役割の大きさを学びました。生徒はホストファミリーとの生活も含め、観光では見ることも触れることもできないミャンマーに出会い、掛け替えのない貴重な経験を得たようです。



(GECミャンマー研修担当)

International School of Myanmar

(ISM) 来校

2月1日(木)～5日(月)の日程で、ミャンマー・インターナショナルスクール(ISM)の旅行団が来校されました。こちらの学校は、本校のミャンマー研修で毎年お世話になっているところです。

2年前の訪問ではバスケットボールチームが来校し、本校バスケットボールチームと交流試合を行いました。今回の旅行の目的は「音楽を通しての文化交流」で、ブラスバンド部と合唱部、総勢20名の生徒の皆さんと3名の引率の先生方が来られました。本校吹奏楽部とのジョイントコンサートでは、ISMの先生の指揮のもと『鷲の舞うところ』を合奏し、迫力のある演奏を披露してくれました。

また、20名全員が本校生徒宅にホームステイをし、日本での生活を体験しました。週末はホストファミリーと宮島観光やショッピングなどを楽しみました。滞在中に雪が降ったことは、平均気温が25℃を超えるミャンマーの皆さんにとっては忘れられない経験だったようです。

初日はみなさん緊張した表情でしたが、最終日はホストファミリーとの別れを惜しんで涙する姿も見られました。ホストファミリーのみなさん、吹奏楽部のみなさん、ご協力いただきました先生方、ありがとうございました。



(GEC)

2018年度中学生徒会役員 選挙結果

1月25日(木)に行われた投票の結果、生徒会五人委員は以下のとおりに当選・承認されました。

五人委員	K・R (2-2)
	M・K (2-2)
	F・I (2-3)
	M・K (1-5)
	Y・K (1-5)

当選・承認された生徒には、女学院中学校生徒会の伝統を守りつつも、さらに発展し続ける生徒会であるよう持てる力を十分に発揮していってくれることを期待します。

(中学選挙管理委員会顧問)



中学英語オラトリカルコンテスト

2月6日(火)、第42回オラトリカルコンテストがゲーンズホールにて行われました。中1、中2は暗唱を、中3とインターナショナル部門の生徒はスピーチを発表しました。各学年の代表となったスピーカーは皆、冬休みから練習を続け、宿題として取り組んできた成果を十分に発揮し、大変熱のこもった大会となりました。進行役の中3のMCの生徒たち、照明を担当してくれた演劇部の生徒たちも、この日のために一生懸命準備してくれ、大会を盛り上げてくれました。また、当日会場には保護者の方も多数お越しくださり、大変ありがとうございました。

受賞者は下記の通りです。

中 1	1位	S・M (1-2)
	2位	M・Y (1-5)
	3位	H・J (1-2)
	敢闘賞	Y・R (1-1)
中 2	1位	O・S (2-3)
	2位	N・Y (2-1)
	3位	K・M (2-2)
中 3	1位	S・N (3-1)
	2位	H・M (3-2)
	3位	M・Y (3-5)
	敢闘賞	O・R (3-1)

インターナショナル部門

1位	N・Y (3-3)
1位	B・E (3-2)

(英語科)

フェリス女学院碑巡り案内

2月7日(水)にフェリス女学院高校の碑巡り案内が行われました。今年で34回目となります。当日は約180人のフェリス高1生を本校の高1~3の生徒たちが案内しました。交流会では、フェリスの生徒2名がヒロシマ学習旅行に向けて考えてきた思いを発表しましたが、毎年、自分の

内面からじっくり考えた深いメッセージが語られます。本校は高1・2の署名実行委員・GI 選択生徒による本校の活動報告を語りました。フリートークも次第に打ち解けて、最後はあちこちで記念写真を撮っていました。碑めぐりをご覧になった先方の教員からは「高校生が自分で原稿を作り、碑の回り方を決めるというやり方。そして生徒、特に高3の見事なプレゼンに感動しました。」という感想をいただきました。この伝統が蒔いた種が、フェリス女学院と本校それぞれの生徒の中で芽を出してほしいと祈っています。

(GEC)

じょがく in LOVE

2月10日(土)に小学5年生対象の広報イベント「じょがく in LOVE」を開催しました。教室では、「女学院クイズ」、「プチ女学院入試」、ホールでは、「吹奏楽部による演奏」、「英語スピーチ」、「入試解説」を行いました。教室での「女学院クイズ」では、生徒が作った画用紙やパワーポイントを使って、楽しく女学院のことを知ってもらうことができました。ホールでの「英語スピーチ」では、高1の校内スピーチコンテストの優勝者であるN・Aさんが、ヒロシマ・アーカイブや、署名実行委員会での活動を通して、平和について考えたことを英語でスピーチしました。

この「じょがく in LOVE」は、プログラムの進行全てを、高校1年生と中学3年生の有志の生徒に手伝ってもらいました。小学生への学校紹介やクイズの作製、ホールへの誘導から最後のあいさつまで、全て生徒がサポートしてくれました。小学生を前に、一生懸命活動する姿はとても頼もしかったです。小学生の皆さんもとても楽しそうにイベントに参加していました。小学5年生と保護者の方をあわせて400名近くの方に参加していただき、イベントは大盛況でした。

お越しいただいた小学生、保護者の方々、サポートしてくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。

(広報部)

保健室だより (10)

最近、インフルエンザB型の診断を受ける生徒も増えてきました。B型では、熱が上がらない場合もあります。抗インフルエンザ薬は、発症から48時間以内に使用することで最大限の効果を得ることができます。初期治療が遅れてしまうと、治りが遅く、長引いてしまうこともあるので注意が必要です。

インフルエンザの出席停止期間は、「発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで」です。再登校する際には、出席停止の期間の分かる治癒証明書の提出をお願いします。

(保健室)

心の健康 (10)

これまでストレス解消のヒントを stress の頭文字で示してきました。今回は6文字目の **S=Speaking:おしゃべり・話す** ことです。誰でも経験があつて知っていることですが、おしゃべりしたり、話を人に聞いてもらったりしたら、気持ちが晴れやかになります。自分の思いや胸にたまったことを話す。自分の考えを語る。言葉で自己表現することは、ストレス解消に繋がります。ただ、しっかり聞いてくれる人が居てこそです。

3月は前半が期末テスト、後半は春休みと状況がガラッと変わります。また今の学年が終わって新しい学年に進み、季節は冬から春へと移ります。状況は変化しますが、日頃から子どもの話すことに本気で耳を傾け、親と子が互いに向かい合って話をし、聞くという習慣を持ちたいものです。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学放送部

※第7回 広島朗読フェスティバル

O・S (2-1)

I・Y (2-4) 審査員特別賞

※「生徒の活躍」について

この欄は、部活動・同好会の大会・試合結果等を掲載しています。個人については主催団体より学校に直接報告があったものを中心に、個人の報告によるものを載せています。報告は担任を通じて書面でお寄せ下さい。内容検討の上、掲載いたします。



今月の聖句

天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。

生るるに時があり、死ぬるに時があり、植えるに時があり、植えたものを抜くに時があり…

泣くに時があり、笑うに時があり、悲しむに時があり、踊るに時があり……

捜すに時があり、失うに時があり、保つに時があり、捨てるに時があり、裂くに時があり、縫うに時があり、黙るに時があり、語るに時があり、愛するに時があり、憎むに時があり、戦うに時があり、和らぐに時がある。

……神のなされることは皆その時にかなって美しい。神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた。それでもなお、人は神のなされるわざを初めから終わりまで見きわめることはできない。

伝道の書 (コヘレトの言葉)

3章1～8、11節

これは、現在使用している新共同訳聖書より以前の訳で、私が大学を卒業する時、尊敬する先生から頂いた聖句です。それ以来、人生のつらい時、苦しい時、何度も思い出して支えられてきました。今はなんでこんなことがあるんだろうと思うようなことも、自分の人生を形作っている大切な一コマなのだ。

女学院を卒業していく高3の皆さんにもこの聖句を贈りたいと思います。

(聖書科 T. M)

3月行事予定

1	木	高 卒業礼拝 (中1・2・3、高1 休日)
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	期末テスト(高1・2) 1限8:55~
6	火	(中1・2・3) 1限8:55~ 15分休憩
7	水	1限8:55~ 15分休憩
8	木	1限8:55~ 15分休憩 教科書販売(高1・2) 公立大学中期日程入試開始
9	金	自宅学習日 新高2・3スタディーサポート
10	土	
11	日	
12	月	テスト返却 1限9:00~ 教科書販売(中3) 国公立大学後期日程入試開始
13	火	1限8:55~
14	水	特別時間割 1限8:55~
15	木	1限8:55~
16	金	中3、高1ダンス発表 中1・2個人写真 中3副教材販売 1限8:55~
17	土	1限8:40~
18	日	
19	月	終業の日 (中)卒業礼拝 高2補習
20	火	韓国研修(中2,高1)
21	水	春分の日
22	木	マウントユニオン大学短期研修
23	金	
24	土	カンボジア研修(高1)
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

2018年度の主な行事予定

- 4月 7日(土) 中学入学礼拝
- 9日(月) 高校入学・始業礼拝
中学始業礼拝
- 4月10日(火) 授業開始
- 4月17日(火) 学級懇談会
- 5月12日(土) 体育大会
- 7月20日(金) 終業の日
- 23日(月) 中2チャレンジキャンプ
(~25日(水))
- 8月30日(木) 始業の日
- 10月 2日(火) 高2修学旅行
(~5日(金))
- 3日(水) 中3研修旅行
(~5日(金))
- 11月 3日(土) 文化祭
(5日(月) 振替休日)
- 12月19日(水) 終業の日
- 1月 8日(火) 始業の日
- 3月 1日(金) 高校卒業礼拝
- 18日(月) 終業の日
中学卒業礼拝